

校内研修計画（概要）

1 研究主題

ともに学び合う子供の育成～小集団での学びを生かして～

2 主題設定の理由

本校では、昨年度、学習指導要領をふまえて、ともに学び合う子供の育成～小集団での学びを生かして～のために、ペアやグループ等の小集団での学び合いを積極的に取り入れ、小集団での学び方を工夫する研究を進めた。また、未来を担う子供たちが、自分に自信や夢をもち、心豊かにたくましく生きる力を身に付けるために、全ての子供に基礎・基本の学力を付けさせたいと考え、算数科の指導案作成、授業実践や研究協議を重ねた。その結果、小集団での取組が功を奏し、子供たちに対話に対するポジティブな姿勢が見られるとともに、粘り強い学習意欲を育むことができた。平戸市学力調査では、算数科の学力は全国平均を維持しており、授業や学びタイムでの積み重ねの効果を実感している。その一方で、教師が支援を必要とする児童を支援している間や複式授業で他学年の指導を行っている間に待ち時間ができたり、受け身になってしまう児童が見られたりした。

本年度の学級構成は、複式学級が2学級、単式学級が2学級、特別支援学級が1学級である。支援を要する児童が複数在籍しており、学習の進め方が大きな課題の一つとなる。少人数のよさを生かして、主体的に学び合う児童やリーダーの育成に取り組むとともに、単学級児童も来年度から複式学級になることを念頭に置き、リーダーを中心に授業を進める力を育てたい。教師がファシリテーターとしての役割を担い、小集団での協働的な学びを生かした授業実践に取り組んでいく。

以上の実態を踏まえ、今年度も引き続き「ともに学び合う子供の育成～小集団での学びを生かして～」をとおして、主体的に考え、ともに学び合う子供の育成に努めたい。これらの実践により、本校教育目標である「進んで学び、思いやりのある、たくましい子供の育成」の具現化にせまっていく。

3 今年度の方向性について

1 主題・副主題について	(主) ともに学び合う子供の育成 (副) ～小集団での学びを生かして～ ○昨年度の取組を生かし、レベルアップを図る。 ○複式学級が今後も2学級あるので複式学級についての研究を行う。 ○単学級は「学び合う」をキーワードに。
--------------	--

2 教科	算数科
3 研究内容と方法	<p>(1) 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業実践（全体授業を単式・複式で1本ずつ略案で。） ○小集団での学びを生かした授業づくり ○ガイド学習での授業の進め方、効果的な支援・手立て ○授業との連動（家庭学習） <p>(2) 方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○研究推進委員会で全体の企画・運営・調整を行い、全体会で共通理解を図り、研究を深める。 ○研究授業の視点を明らかにして、算数科の授業を行い、相互評価を行うことで授業力向上を図る。 ○研究授業では、小集団での学び合いを取り入れた授業実践をする。 ○現職教育の充実 ○望ましい児童の姿の共有 ○学力向上を図る教材作り

4 研究組織

